

専門部会報告

〔 第5期高知県産業振興計画における
産業成長戦略（案）に対する意見について 〕

1	農業部会	1
2	林業部会	2
3	水産業部会	3
4	商工業部会	4
5	観光部会	5

農業部会報告(産業成長戦略／農業分野)

1. 第5期産業振興計画<農業分野>(案)に対する意見について

事務局から説明のあった農業分野の目標や戦略の方向性、具体的な取組等については、原案どおり了承。

なお、事務局からの説明に対し、部会員から以下のような意見・要望等が出された。

【主な意見】

- 1) 生産力の向上と持続可能な農業による産地の強化
 - ・化石燃料を使用して農産物を生産し、遠い消費地へ流通させている本県こそ脱炭素社会に向けた取組が重要と思うので、農業分野の脱炭素の取組を県主導で進めていただきたい。

- 2) 多様な担い手の確保・育成
 - ・出生率の低さは本県の喫緊の課題であり、女性の担い手確保対策を新たに計画に位置づけていただいたのは素晴らしい。
 - ・女性向けに農業機械の操作や農業経営等を学べる機会を作っていただきたい。
 - ・女性の就農にあたっては、「女性では無理」という周囲の固定観念がまだまだ強いので、固定観念を払拭し、周りの皆で育てていこうという意識醸成が必要。
 - ・小中学生に食を支える農業がいかに大事な職業かという教育を充実させていただきたい。
 - ・IoPの取組などデジタル化が進み、若者にとって農業が魅力的な職業であることをどんどん周知してほしい。

- 3) その他
 - ・各種イベントや研修会、支援策など良い取組が沢山あるので、多くの方に参加・活用いただけるようPRにも力をいれていただきたい。

林業部会報告(産業成長戦略／林業分野)

1. 第5期産業振興計画<林業分野>(案)に対する意見について

林業分野の目標や戦略の方向性、具体的な取り組み等については、原案どおり了承。なお、事務局からの説明に対し、部会員から以下のような意見・要望等が出された。

【主な意見】

1) 森林資源の再生産の促進

- ・高性能林業機械の導入等により原木生産における生産性の向上が図られてきたが、大径化により扱う原木が重くなっていく中、更に生産性を向上させる施策が重要。
- ・デジタル化の取り組みについては、使用する書類のフォーマットなどについて国や四国4県にも情報共有をお願いしたい。
- ・新たな森の工場を整備していく中で林道の作設を考える場合は、トレーラーが入れるような林道の検討をお願いしたい。

2) 木材産業のイノベーション

- ・非住宅木造建築物を増やしていく際、設計側が県内の木材加工体制を理解して図面を書くことも大事だが、県内で加工できるよう設備を整えていくことも重要。

3) 多様な担い手の育成・確保

- ・林業分野においても、デジタルに強い方など多様な人材を呼び込んでいく時代になりつつあることを認識しておくべき。
- ・今後、外国人材が必要になってくる。外国人材の受入れについて、どのような問題があるのか現場に来て把握していただきたい。
- ・半林半Xという新しい働き方をする方には、一時的に林業をするのではなく、継続して林業で家族を養うという視点を持っていただきたい。
- ・トイレや更衣室については、現場の女性だけでなく男性にとっても必要になってくる。林業の現場実態を踏まえた設置場所を考えることが必要。
- ・移住の促進により林業就業者を確保するためには、学校やお店など生活環境をイメージして林業への就業を検討してもらうことが大事。

水産業部会報告(産業成長戦略／水産業分野)

1. 第5期産業振興計画<水産業分野>(案)に対する意見について

事務局から説明のあった水産業分野の目標や戦略の方向性、具体的な取り組み等については、原案どおり了承。

目標の達成に向け、官民挙げて全力で取り組んでいくことを確認。

なお、事務局からの説明に対し、部会員から以下のような意見・要望等が出された。

【主な意見】

1) 漁業生産の構造改革

- ・事業戦略の実行支援について、踏み込んだ内容で支援をしてくれる良い取り組みなので、現場で船頭と話す機会も設けながら、支援委託業務終了後も引き続き支援を続けていただきたい。
- ・水揚げが減少しているキビナゴに関する調査等の支援をお願いしたい。
- ・水産加工業とも密接に関わるいわししらす機船船びき網漁業についての支援も検討いただきたい。

2) 市場対応力のある産地加工体制の強化

- ・県版 HACCP 認証が終了することになり、これまで県版 HACCP を取得し商談に取り組んでいた事業者からすると、効果のある認証制度がなくなるので今後の商談に不安があり、今後の対応について検討していただきたい。
- ・食品表示について、食品事業者からの相談申込方法が変更されるようだが、引き続き事業者へ指導をしていただけるよう、県庁内で横のつながりを持ちながら協議をしていただきたい。

3) 流通・販売の強化

- ・魚や加工品等の商品を集める法人をつくるなど、自社だけでは大量の商品を出せない小規模な事業者でも輸出に取り組めるような仕組みづくりを検討していただきたい。

4) 担い手の確保・育成

- ・稼げる仕事になれば人は帰ってきて、女性も来てくれるので、漁業を、誇りを持って働けて稼げる仕事にしてほしい。

商工業部会報告(産業成長戦略／商工業分野)

1. 第5期産業振興計画<商工業分野>(案)に対する意見について

事務局から説明のあった商工業分野の目標や戦略の方向性、具体的な取り組み等については、原案どおり了承。

なお、事務局からの説明に対し、部会員から以下のような意見が出された。

【主な意見】

1) 県内企業のデジタル化の促進

- ・デジタル化を進めていくに当たっては、関心は高いものの、どのように行動すればよいか分からないという比較的小規模な事業者をターゲットにアプローチして成功事例をつくる取組を進めることで、関心の低い事業者にもデジタル化が進展すると思う。
- ・インボイス対応などにより事務処理が煩雑化している中で、事業者の事務の効率化・省力化を効果的に進めていくためには、RPA などデジタルツールの具体例や導入の効果などを分かりやすく伝えていくことが必要だと思う。
- ・支援の取組フェーズが進み、ソフトウェア開発やシステム構築の段階になった際には、県内の IT 企業を巻き込んでもらいたい。継続して施策を進めたり、産業を発展させたりする上では、サポートする産業を育てていかないと続かないと思う。

2) 商業サービスの活性化

- ・デジタル技術で計測した商店街の人流データは、活用の用途をさらに広げていけると思う。把握したデータを活かして個々の店舗情報を効果的に発信し、個店の魅力を伝えていくとともに、売り上げ向上などにも結びつけていきたい。

3) その他

- ・様々な取組を進めていただいているが、郡部には意外とそういった情報が届いていないため、情報発信の手段をさらに工夫していただきたい。

観光部会報告(産業成長戦略／観光分野)

1. 第5期産業振興計画<観光分野>(案)に対する意見について

令和6年度以降の目標や戦略の方向性、重点施策等については、原案どおり了承された。

事務局からの説明に対して、部会員から以下のとおり意見・要望等が出された。

【主な意見】

1) 国際観光の推進について

- ・高知県は、欧米の方に気に入ってもらえる「自然・食・文化」などの素材がたくさんあるので、高知龍馬空港の国際化については、是非成功させていただきたい。
- ・高知龍馬空港の新ターミナルビル整備にあわせて、グランドハンドリング等のソフト面の受入態勢への配慮も必要。
- ・欧米からのインバウンド誘客を進める上で、関西空港と高知龍馬空港を結ぶ直行便が必要不可欠。

2) 観光人材の確保・担い手不足の対応

- ・チャーター便やクルーズ船の寄港などに対応するための通訳やガイドが不足しており、地域通訳案内士などの有効活用が必要。
- ・留学生もガイド等の観光人材として活用を積極的に検討すべき。
- ・将来の高知県の産業を支えるための担い手を育成するためには、県内の若者に学生時代から観光産業に関わるができる仕組みが必要。

3) その他

- ・高知県は、仁淀川など中山間地域の素晴らしい風景があり、世界のロードバイクの大会を開催するには絶好の環境なので、サイクルツーリズムを積極的に誘致すべき。
- ・アドベンチャーツーリズムについて、高知の強みである「釣り」を全面に押し出していきたい。